

令和元年第 1 回理事会議事録

令和元年 5 月 9 日

公益社団法人 岡山県獣医師会

(公社)岡山県獣医師会令和元年度第1回理事会議事録

1. 日時及び場所

令和元年5月9日(水) 午後1時30分から午後3時01分まで

岡山県獣医師会館2階会議室 岡山市北区下中野350-103

2. 出席者

会 長 春名章宏、 副会長 樋口義男、 常務理事 加藤信介、

理 事 中村金一、 沼本輝孝、 瀧本良幸、 酒井康夫、 加藤芳登、 岡田耕平(欠席)

井戸 司、 上原淳宏(欠席)、 安井正弘、 日下知加久(欠席)

監 事 山形幹夫 西野 昇

オブザーバー 橋本尚美(欠席)

書 記 澤田真由美

3. 開 会

加藤常務(以下常務)が第1回理事会の開会を告げ、春名会長(以下会長)が、多忙の中の理事会出席に対し謝意を表し、昨年の未曾有の災害にもよらず、会として対応できた事、皆さんの協力の下と感謝するとともに総会に向けた最後の理事会、慎重審議をお願いすると挨拶した。

4. 議 事

常務が、本日は理事9名の出席であることを述べ、理事会が成立すると報告した後、また、定款第34条により会長が議長となること、定款第36条及び理事会運営規則第12条により出席した会長及び監事が議事録署名人になることを説明し、春名会長が議長となり議事に入った。

議長が、本日の理事会資料は事前に郵送し、お目通しいただいていると思うので、常務に簡潔な説明を求めるとした。

[報告事項]

(1) 平成31年度中国地区獣医師会連合会定期総会について

常務が、理事会資料中の日本獣医師会境専務の来賓挨拶において、日本獣医師連盟北村委員

長代理として、本年度予定されている第 25 回参議院議員通常選挙において、全国比例区組織内議員として支援してきた栃木県出身の渡辺美知太郎候補が栃木県那須塩原市長選挙に出馬する事となり、現在人選中途の事であったが、日本獣医師連盟から愛知県出身で自民党新人、元 F1 ドライバー山本左近候補を支援する事となった由、通知があったと説明。

また、愛がん動物看護師法については、4 月 26 日開催された超党派の議員連盟総会で法案が示され今国会に上程され成立する見込みであるとした。

一方、マイクロチップ装着・登録の義務化を盛り込んだ「動物の愛護及び管理に関する法律の改正」については、同時に盛り込まれる犬の販売日令の制限が引き上げられる事に、ペット販売業界が反対しており、法案提出が秋の国会になる見通しとなっている。

各県からの要望事項で、岡山県が以前から要望している「獣医療広告ガイドラインの見直し」が行われておらず、継続要望とすることで、理事会の理解を求めた。

各県獣医師会が輪番で対応している日本獣医師会の理事・常設委員会委員等については改選で選任は事務局対応とし、また岡山県は来年度の当番県で中国地区獣医師大会・学会の日程・会場については既に確保していると報告したとした。

意見交換の中で、消費税値上げへの対応として狂犬病予防注射料金の値上げについては、各県で状況が異なり、岡山県でも今後検討することになるが、その他の課題についても新理事に委ねる事で了解を得た。

（２）狂犬病予防注射事故防止対策委員会について

総社地区で、資料のような事故が発生し委員会を開催し、見舞金を飼育者に交付しており、損保ジャパンの保険について協議していると報告した。

議長は、報告事項について質疑を求めたが特になく、決議事項の（１）～（３）について説明するよう求めた。

〔決議事項〕

常務が「第 68 回定時総会議案書（案）」の（１）～（３）を、次のとおり説明した。

（１）平成 30 年度事業報告について

常務が、決議事項ではないが平成 30 年度事業報告を説明し、あわせて決議事項の平成 30 年度収支決算について説明するとした。

総括的事項は、要点のみ次のとおり説明した。

- ① 平成 30 年 7 月西日本豪雨災害の被災者支援を発災後より 10 月末まで実施し、財源として指定正味財産の動物愛護募金積立資産を取り崩し対応した。
- ② 学校飼育動物サポート事業の一環として、県教育庁の依頼で「心と命のサポート事業」を実施した。
- ③ 岡山県獣医師会のホームページを 4 月 1 日改定し、募金の呼びかけや豚コレラ・アフリカ豚コレラなど家畜伝染病、重症熱性血小板減少症候群など人獣共通感染症に関する情報提供と注意喚起を行った。

業務概要では、会員数などの推移、人事として日本獣医師会等の関係・表彰関係の説明に続き、総会・理事会・監査などとともに監督官庁の立入検査などの行事について説明した。

事業概況では、「動物愛護及び管理に関する法」に関連する事業のうち、特に「災害時の動物救援活動事業」とこれに関係する動物愛護募金事業等の詳細を説明した。次に、狂犬病予防法関係事業のなかで、平成 30 年度予防注射頭数から推定する飼養頭数が減少傾向に転じていると報告した。獣医学術普及向上事業では、小動物獣医学会・小動物講習会でブース展示を行い、展示料を収入し開催コスト削減に努めたとした。

(2) 平成 30 年度収支決算について

財務諸表は、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について簡単に説明を行い、内訳表を掲載しているが、この部分の説明は省略した。

平成 30 年度決算については、まず「貸借対照表」については、会費等の収入のない第 1－四半期の運転資金として流動資産のうち、現金預金での保有を増やしたとし、各資産の詳細は財産目録に内訳を示したとした。正味財産増減計算書では、収入の部、支出の部の前年と大きく異なる点を中心に説明する中で、豪雨災害対応財源とするため、特定資産の指定正味財産「動物愛護募金積立資産」を取り崩し、経常収益の動物愛護募金事業収益として計上し、経常費用の事業費として巡回診療への獣医師の派遣や被災動物の動物病院での一事預かりと被災に伴う

治療費等への支出を臨時雇用賃金や支払助成金として計上していると説明した。

最後に、公益法人の会計３原則に照らし、適合していたと説明した。

（３）平成３０年度動物愛護募金事業の収支決算について

常務は、岡山県獣医師会動物愛護募金実施規程、同細則により収支決算を理事会で承認後、通常総会において承認を得なければならないとなっていると説明し、特に昨年度は西日本豪雨災害における被災者支援の財源として取り崩して支出したとし、収入支出の詳細説明をした。

ここで議長は、監事に監査報告を求めた。

西野監事が、平成３１年４月２４日、岡山県獣医師会館２階において山形監事と平成３０年度における(公社)岡山県獣医師会の事務事業の実施状況及び会計処理状況について、会長から事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等の提出を受け、それぞれ諸帳簿、証拠書類等の監査をし、その結果、いずれも適正に処理されていたと報告した。

<質疑・意見>

副会長から、議案書（案）において「平成３０年度事業実施状況」が報告事項となっている事について照会があり、常務が公益法人法及び定款第４１条により、報告事項となっている事を説明し、議案書のとおりとすることで了解を得た。

議長は会場に質問を求めたが、他に質問は無く、議長が決議事項（１）～（３）は承認され、決議事項（４）の説明をするよう事務局に促した。

（４）役員改選に伴う候補者の選定について

常務が、資料は昨年度改正した役員選任規程に基づき推薦された候補者で、総会前の理事会において選定することとなっていると説明した。

議長が、意見を求めたところ異議なく、資料のとおり選定された。

（５）第６８回定時総会における功労者表彰候補者について

常務が、狂犬病予防事業功労者表彰の知事表彰３名と部長表彰３名の候補者を前回理事会で承認し、既に推薦したと説明した。

岡山県獣医師会長表彰の贈呈候補者の承認について諮るとし、資料のとおり 8 支部から 10 名推薦されていると説明した。

<質疑・意見>

加藤理事；獣医事従事年数 9 年の方がいるが、会員歴の点で問題ないか。

常 務；野生動物の関係の発表や専門書の執筆・監修も多く、支部から推薦があった。

山形監事；表彰規程に照らし、該当するかどうか確認していただきたい。

常務が、規程を読み上げ該当することが確認され、全員を表彰する事となった。

(6) 新規入会者の諾否決定について

入会申し込みのあった 5 名について異議無く入会が承認された。

(7) 第 68 回定時総会に提出する議案について

常務が、資料として提出した議案書の議案の内、令和元年度会費・金融機関の指定・役員報酬の額について例年同様上程する事としたい旨説明し、異議なく承認された。

[協議事項]

(1) 「岐阜県及び愛知県における豚コレラの防疫措置について（緊急要請）」に対する対応について

議長が、資料のページを確認し説明を促し、常務が読み上げ説明した後、議長が会場に諮り、要請があれば募金等の要請に対応する事で承認された。

<質疑・意見>

沼本理事；家畜防疫に関する研修会などに家畜保健衛生所から案内がある事があり、小動

物・大動物に係わらず、地域の住民から質問がある。(会員であれば) 幅広く分野を超えて参加すべきと提案する。

[その他]

議長が、「(1) 今後の行事予定」について説明を促し、常務が説明した。

引き続き事務局から口頭で、「70 周年記念式典」の開催について会員から要請があり、対応を理事会に諮りたいとした。

<各理事の意見>

春名会長；予算的に難しく、事務局の事務量も増えており、実施のための準備期間もいる。

中村理事；これまでの開催状況を確認したい。

常 務 ；30周年は、今の獣医師会館落成式において、50周年はメルパルクで開催している。50周年は、100万円を超える予算で開催しており、現在の状況では各企業からの協賛は難しいと考える。

副会長 ；75周年は、総会にあわせ記念講演会を開催し、経費も極力削減して実施してはいか
がか。

加藤理事；来年度の地区学会・大会を開催したあと、準備期間において実施すべき。

議長が「70周年記念式典は開催しない。準備期間をおき開催する。」として了承された。

議長は、他に意見が無いので提出した議題はすべて終了したことを告げた。

樋口副会長からの閉会の辞をもって、午後3時1分閉会した。

上記議事の経過及び議決事項を記録するため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人が署名捺印する。

令和元年5月9日

会長理事

春 名 章 宏



監 事

山 形 幹 夫



監 事

西 野 昇

